

第 部 ブログ作文技術

第1章 はじめに

Q 01 インターネットの文章はどう読まれているの？

[BEFORE]

はじめに

インターネットの世界は、常に進歩をとげています。ごく一部の研究者しか使わなかったツールが、今ではどうでしょう。それを繋ぐ環境さえ手に入れば、誰でも気軽に扱えるようになりました。インターネット上のホームページに関しても進歩は著しいもので、一昔前まで、ホームページを開設できるのは、ごく限られた者の特権でした。HTML タグ・CSS..... など難しいものだらけでしたから、簡単なテキストを載せるにも、サイトを開設するには様々なハードルが待ち受けていたのです。しかし、そんなハードルも、今はあつてないようなもの。サイト構築ソフト、レンタル日記サービス、そしてブログ。ブログは、テキストを書くためのハードルを、限りなく低くしました。「誰でも簡単に、Web テキストが書ける」今は、そんな時代です...

...

[AFTER]

はじめに

取り払われた Web テキストへのハードル

インターネットの世界は、常に進歩をとげています。ごく一部の研究者しか使わなかったツールが、今ではどうでしょう。それを繋ぐ環境さえ手に入れば、誰でも気軽に扱えるようになりました。インターネット上のホームページに関しても、進歩は著しいもの。

一昔前まで、ホームページを開設できるのは、ごく限られた者の特権でした。HTML タグ・CSS..... など難しいものだらけ。簡単なテキストを載せるにも、サイトを開設するには様々なハードルが待ち受けていたのです。

しかし、そんなハードルも、今はあつてないようなもの。サイト構築ソフト、レンタル日記サービス、そしてブログ。ブログは、テキストを書くためのハードルを、限りなく低くしました。「誰でも簡単に、Web テキストが書ける」のです。今は、そんな時代です.....

上の2文はタイトルを除くとまったく同じ文章です。読んだ感じはいかがでしょう？

Web テキストを書く者、共通の願い

そういった時代背景も手伝って、Web テキストを書く人は秒単位で増え続けています。それにともない、「同じ願い」を持つ同志も増えることになります。その願望とは、

「自分のテキストを読んでもらいたい」

形は人それぞれ違うかもしれませんが、サイトのアクセスを増やしたい、自分のコラムにファンがついてほしい、読んでくれる人を楽しませたい…… これからブログを始めようとする貴方も貴女も、同じ願いを持つ同志なんじゃないでしょうか。

この秘策集を、あなたへ……

本 PDF ファイルは、ブログサイトを設立しようとしているあなた、そして、すでにサイトを開設しているあなたへ向けた、「web テキスト書き方秘策集」です。

「どうすれば読んでもらえるのか？」

「どうすれば、わかりやすいコラムが書けるのか？」

「どうすれば読者を楽しませることができるのか？」

このファイルでは、以上の 3 点についてできるかぎり具体的に書いてみようと思います。ここに掲載する 100 の考え方・実践という名の秘訣が、一人でも多くの方に役立つことを願って……

読む人を楽しませようと志す「同志」へ捧げます。

改行のススメ

インターネット上のテキストを書きさい、注意しなければいけないのは「見た目」。読みやすくする工夫、というよりも見やすくする工夫といった方が適切でしょう。

まず前ページの【BEFORE】を見てください。文字が詰まりすぎていて、見た瞬間に読む気が失せてしまいます。改行を多くして、目にやさしいテキストを作った方がいいですね。

「改行する位置」など、詳しくはこれから述べていきたいと思います。

長すぎるテキストは読まれない

ただ長いというだけで、読むのをやめてしまう人もいます。テキストは、モニターを通して読む文章です。長いテキストは目が疲れるだけでなく、集中力が持続できません。では、テキストが長くなってしまったとき、どうすればいいのでしょうか。

次に前ページの【AFTER】を見てください。そうです！ 見出しを入れるとよいのです。小見出しには、小休止を誘導して、「読者の集中力を持続させてくれる」という効果があります。長いテキストであっても、読者は、一つ一つ別れた項目を短く感じ、読む気になってくるんです。詳しくは第 3 章で。

(001) テキストはブラウズされている

ブラウズ = 拾い読み

モニターを通してあなたはどのようにテキストを読んでいますか？ テキストは、決してページを開いた瞬間に上から下まで丁寧に読まれるようなことはありません。読者の大半は、テキストを「ブラウズ」しています。つまり、テキストを拾い読みしているんですね。まずブラウズして、気になる単語が目に入れば読む、といった要領です。

インターネットの文章ならではの工夫

せっかく書いたテキストが読者に拾い読みされてしまうのは、書き手にとってはどうしようもないことです。宿命だと思って、あきらめるしかないでしょう。むしろ、ブラウズされる事実をふまえてインターネットならではの工夫をすることが大切です。

「どうやってブラウズしやすいテキストを作るか？」

という方向で、工夫を考えましょう。その先は「読みやすく」というよりも、「見やすく」する工夫につながってきます。もしかすると、この部分がサイトのアクセスを伸ばす一番のキーポイントかもしれません。

それでは、次の項(002)で、拾い読みしやすい、ブラウズしやすいテキストを書くにはどうすればよいか、考えることにしましょう。

(002) ブラウズしやすいテキストにするために

目にやさしいという基本

前ページの[BETWEEN][AFTER]でもふれました。モニター上に見るテキストは、「見た目」が大切です。「テキストを見やすくするにはどうしたらいいか？」を考えていきましょう。文字の大きさはどうすればよいのでしょうか？ 行間は？ 背景と文字色の色合いは？

文字の大きさは、小さすぎても大きすぎてもいけません。文字を小さくすればスタイリッシュなイメージのあるサイトになります。しかし、目の悪い読者にとって、そういったサイトはどう映るでしょうか。見にくいことこのうえなしですね。どんな有益で楽しいことが書いてあってもそれに気づかず、他のサイトへと去ってしまうでしょう。あなただってそうではありませんか？

続いて行間、改行について考えると、行間も空いている方が見やすいですね。改行で毎回 1 行ずつ空けていくのもよいのですが、スタイルシートでやってしまう方が楽。詳しくは述べませんが、

```
<Style type="text/css">
<!-- (注)--は「-」+「-」
BODY{line-height=150%}
-->
</style>
```

というようなものです。150 のところをお好きな数字に変え、スタイルシートで行間を調整できます。

できるだけ背景と文字色も、読者にとって見やすいものを選びましょう。デザインとの兼ね合いもあるのでそれ以上のことはいえません。何ごとにも、「読者の立場で考える」という視点が大切です。

(003) 読者にブラウズさせる

読者が重点的にブラウズする場所

どのテキストでも、ブラウズされやすい場所は決まっています。それは3つ。「題名・小見出し」、「冒頭」、「末尾」です。この3つの場所に「キーワード」や読者に「ブラウズしてもらいたい事項」を入れておきましょう。読んでもらえる確率は格段にアップします。そのテキストのキャッチコピーを入れる要領です。題名・小見出し・冒頭については、第3章で詳しくふれます。

読者の目に入れてしまう

題名・冒頭といった場所でなくても、インターネットのテキストを読んでいると自然と目に入ってくる単語・文があります。それは「強調された箇所」。強調とは他の部分と区別することです。たとえば、その単語だけ文字サイズが大

きかったり、その文だけ太字で書かれていたり、文字色・フォントが違っていたり..... 読者にブラウザしてもらいたい語が文中のなんでもないところにきてしまったら、強調して、読者の目に入れてしまいましょう。

ここで、注意しなければいけないことが 1 つあります。それは、「ここぞというときにだけ強調する」ということ。ある部分を特別に他と区別して読者の目に入るようにするのが強調の目的です。頻繁に強調していると特別ではなくなってしまう、ブラウザされません。注意しましょう。

(つづく)